

要望書（回答）

- ① 昨年の要望した公共施設のトイレの改善進捗状況を教えてください。
（R5 公共施設の身障者用トイレの整備、コミセンなどの施設内備品の要望について）

【回答】（福祉部障がい福祉課 担当）

令和6年4月現在、市内公共施設で車椅子の方が利用できるバリアフリートイレが設置されている施設は、全体では63か所中58箇所となっています。

バリアフリートイレの整備は各施設の状況によりますが、大人のおむつ交換スペースの確保も推進しているところです。

今後についても、公共施設の新設等などの際に整備を進めてまいりたいと考えています。

（市民生活部市民生活課 担当）

のぞみコミュニティセンターにおいて、昨年度ご要望いただいた備品の整備については、令和6年3月にフードプロセッサ、電子はかりを整備したところです。

施設の整備や維持管理は、限られた予算の中で利用頻度を考慮し、指定管理者と協議しながら行っております。

- ② 訪問介護、看護従事者の不足を耳にしますが、どのくらい不足しているかご存じでしょうか。また市として対策はお考えでしょうか。

【回答】（福祉部介護福祉課 担当）

第9期介護保険事業計画の策定のために令和4年度に実施した介護人材実態調査によれば、職員に欠員が生じていると回答した34事業所のうち、訪問介護員に欠員があると回答したのは5つの事業所で、合計20人が欠員となっております。

訪問介護員を含めた介護職員の人材不足については、市としても、これまでも初任者研修などの介護に関する資格研修・講座に要する費用の助成等を実施してきました。また、介護サービス事業所における事務負担軽減のため、電子申請・届出システムも導入してきたところです。

今後も、介護人材の長期定着・離職防止に向けた施策を検討してまいります。

- ③ 市役所の非正規職員を正規職員に登用していく方針はありませんか。安定した雇用の対応にもなりますし、業務内容に慣れた職員が増えることが住民サービスになると考えます。

【回答】(総務部行政監理室 担当)

職員の採用については、競争試験による選考を原則としているため、競争試験を経ずに非正規職員を正規職員へ登用する方針はありません。

しかしながら、公務部門において一定程度の経験を有する方は、入庁後即戦力として期待できることから、引き続き採用試験における年齢要件などの受験資格の見直しや、正規職員として活躍が期待できる方へ採用試験の受験を促すなど、人材の確保に努めてまいりたいと考えております。

- ④ 高齢者施設の不適切対応について

高齢者施設での利用者への不適切対応や虐待は、当事者や家族にとっては通報が難しいと感じます。通報のあるなしに関わらず、施設環境や職員の対応などの調査や指導を市として取り組んでいただきたい。

【回答】(福祉部介護福祉課 担当)

高齢者虐待は、高齢者の生命及び尊厳に直結する決してあってはならない問題であり、その防止によって高齢者の権利利益の擁護を図ることが、極めて重要であると認識しております。そのような背景のもと、高齢者施設を含めた介護事業所には、国の法令によって、虐待防止対策検討委員会の定期的な開催や、研修の実施等が義務付けられており、各事業所ごとに全職員を対象として取組が実施されています。

また、市に通報等があった場合は、必ず事実確認を行い、虐待の事実が確認できた場合は、改善のための指導や継続的なモニタリングを実施することとしております。

さらに、通報等がなかった場合においても、市は定期的に介護事業所へ立入調査を実施し、書類や記録等を確認することとなっており、この機会を利用して、虐待防止に関する取組の実施状況、施設内の生活環境、必要な介護記録等の確認を行い、虐待その他不適切なケアが行われていないかについてもチェックをしております。そこで不適切なケアの端緒等が見受けられた場合は、職員全体の認識の再確認や、必要な指導を行うこととしております。

今後も、各事業所で適正な運営が行われるよう、適切に指導等してまいります。

③ 安心して住み続けられる街づくり

バス路線変更、減便、バス停の変更など自家用車に頼ることが出来ない市民の外出の不便を感じる声を多く聞きます。さらに、日用品の買い物をしていた店舗や通院していた病院の閉鎖などもあり、これまでよりもバスに頼らなければならない場面も出てきました。タクシーがなかなか呼べない、との声もあります。外出を控える、我慢する、といった生活になるのではと、これから車の免許返納を考えている高齢者にとっては、たいへんな不安となっています。

【回答】（総合政策部まちづくり推進課 担当）

バス路線の変更、減便、バス停の変更など、公共交通機関の利用環境の変化により、特に自家用車をお持ちでない方や、高齢者の方々にとっては、不便や不安を感じる方もいらっしゃると思います。一方で、運転手の高齢化や成り手不足により、市内交通事業者は厳しい状況におかれていることも課題となっております。

市としましても、市民の皆様が安心して暮らせるよう、バス事業者、タクシー事業者など関係機関と連携し、持続可能な公共交通ネットワークの形成に努めてまいります。